

竜巻で443人死亡

バングラデシュ
負傷3万3000人

【ダッカ15日AP共同】

バングラデシュ中部のタン
ガイル地区で十三日夕、竜
巻が発生、少なくとも四百

四十三人が死亡したほか、
三万三千人以上が負傷し
た。

竜巻は二十分で消えた
が、秒速五五尺の強風を伴
い数百の村を通り過ぎた。

主として土とわらでできた
家屋一万戸が倒壊、電柱や
木々も竜巻が通過した後、

十キロもの幅で吹き飛ばされ

た。同地区と首都ダッカを
結ぶ電話網が切断されてお

り、被災地との連絡が極め
て取りにくくなっている。

地元の病院関係者は、病
院に負傷者が殺到し、病院
近くの施設にまであふれて

いると語った。また、輸血
用の血液や包帯などが不足
し、治療に支障が出ている

という。

バングラデシュでは、モ
ンスーン期に入る前の四月
から六月に気温が急上昇

し、竜巻がしばしば発生す
る。

きょうAMD A

救援チーム出発

アジア医師連絡協議会
(AMD A、本部岡山市)

は、バングラデシュで十三
日発生した竜巻による被災
者の救援のため、十六日か

ら緊急救援チームを現地に
派遣する。

救援チームは、十六日に
成田空港から出発する岩本

淳医師(セ)ら医師、調整員

看護婦計四人と、十七日に

関西国際空港から出発する

広間文彦医師(三)の合わせ

て五人。日本から医薬品約

五十キロを持参し、AMD A

バングラデシュの医師らと

協力して、被害を受けた首

都ダッカの北約百二十キロの

タンガイル地方で被災者の

診察などにあたる予定。

AMD Aは、郵便振替0

125012140709

(通信欄にバングラデシュ

と明記)で救援活動のため

の募金を受け付けている。